

あやべ topics

英語リトミックで楽しく運動

市は8月18日、栗町の豊里コミュニティセンターで「里山エリアはぐくみ事業」を開始しました。第1回の内容は英語リトミック「～HAPPY! Music and English～」親子15組が、ピアノの演奏と英語の声掛けに合わせて楽しく遊びました。参加した片山真成星ちゃん(4歳)の母、明実花さんは「子どもが英語を聞いて、楽しそうに体を動かしていたのがよかった」と話しました。

同事業は、令和7年2月28日まで全12回開催します。今後の予定は、本紙8面でお知らせしますので、ぜひご参加ください。



京都サンガF.C. 綾部市ホームタウンデー

市と京都サンガF.C. (以下サンガ)は8月24日、亀岡市のサンガスタジアム by KYOCERAで「綾部市ホームタウンデー」を開催しました。会場外に設けられたPRブースでは、水源の里特産品などを販売。まゆピーも登場し、ブースを盛り上げました。大型ビジョンでは、市PR動画や市長メッセージを放映。会場では、綾部高等学校の生徒がダンスを披露したあと、市内サッカーチームの選手がピッチを行進しました。綾部フリーゲンFCに所属する芦田季哉くん(綾部小学校6年生)は「サンガスタジアムで行進させてもらえて光栄です」と笑顔を見せていました。

サンガは3-0でFC東京に勝利。迫力あふれる試合を繰り広げ、観客を魅了しました。



中学生が分解の腕競う

綾部鉄工工業協同組合(波多野隆史理事長)は8月19日、青野町のあやテラス・ホールで青少年育成事業「テックプレイカース」を初開催しました。市内の中学1～3年生12人が参加し、1時間でドライバーを使ってノートパソコンをどれだけ細かく分解できるかを競いました。110個の部品を取り外して優勝した豊里中学校2年生の大治咲太郎さんは「思う存分に分解できて楽しかった」と笑顔で話しました。



平和への誓い新たに

地球市民の集い実行委員会(委員長、山崎善也・綾部市長)は終戦の日の8月15日、上野町の藤山公園(寺山山頂)で綾部市民平和祈願の集いを開催しました。44回目となる今年は、市民ら約100人が参加。世界連邦都市宣言文と綾部市市民憲章を唱和した後、平和の鐘の音が鳴り響く中で戦没者に黙とうをささげ、世界平和を祈りました。



あやべ市民大学が開講

本年度のあやべ市民大学が8月17日にスタートしました。開講にあたり山崎市長は「この講座も今年で3年目。市民の皆さんの意見を聞きながらテーマを決め、一緒につくり上げてきた。新たな知識を得る場にしてほしい」とあいさつ。その後「綾部の現在・過去・未来」と題し講義を行いました。

本年度は12月までに全10回開催予定。日程や内容は市ホームページ(記事ID3514)で随時お知らせします。多数ご参加ください。

中学生14人をオーストラリアに派遣

市教育委員会は8月7日から16日まで、飛び立て!中学生海外派遣事業を行いました。市立中学校生徒の“国際社会を生きていく力”を養うことが目的。コロナ禍を経て、5年ぶりに海外派遣が実現しました。

今回は中学生14人が、オーストラリアのブリスベンを訪問。ホームステイや現地校での英語による授業、生徒との交流などを通じ、異文化に触れました。10月9日に報告会を行い、学んだ成果を発表する予定です。



府消防操法大会 東八田分団準優勝！



第29回京都府消防操法大会が8月25日、京丹波町の丹波自然運動公園で開催されました。大会には、市消防団東八田分団（荒井和広分団長）が「小型ポンプ操法の部」に出場。綾部市代表としては歴代最高位に並び準優勝を成し遂げました。

放水タイムは最速

大会には、14人の操法要員から最終的に選抜された▽指揮者・吉田真吾▽1番員・井上貴幸▽2番員・上原豪輝▽3番員・吉崎隆▽補助員・片岡憲一―の5人（敬称略）が出場しました。選手らは強い日差しが照りつける中、綾部から駆け付けた多くの仲間の声援を背に、磨き上げた技術を披露。機敏な動きや正確な操作、息の合った連携で、出場した21市町村のうち

ち見事2位に輝きました。1位との差はわずか0・5点。審査項目の一つである放水までのタイムは、全チームの中で最速でした。同大会での市消防団の準優勝は、平成18年の口上林分団以来18年ぶり2回目の快挙。荒井分団長は「団員みんなで勝ち取った結果。本番まで一致団結してやり切ってくれたことに感謝している。この成果を糧に、今後も地域の安全・安心を守っていききたい」と喜びを語りました。



競技開始直前、真剣な表情で整列する5人の出場選手



会場に集まった東八田分団の団員ら。3月から半年間にわたり、一丸となって訓練に取り組んだ